7. 21災害のご報告と課題

山口大学大学院理工学研究科 瀧本 浩一 防府/防災ネットワーク推進会議 瀧本 浩一

## 災害概況図 2009年7月30日 25時00分現在

#### 国 土 地 理 院









官民協働型佐波川流域防災訓練2009準備のための行政向け事前図上訓練(6月10日) 国土交通省山口河川国道事務所、島地川ダム管理事務所 山口県河川課および山口、防府、周南土木事務所 周南市および支所、山口市および支所、防府市 時間の流れ 県

多くの地域での防災研修、ワークショップを通して 得られた意見(特に地方で)

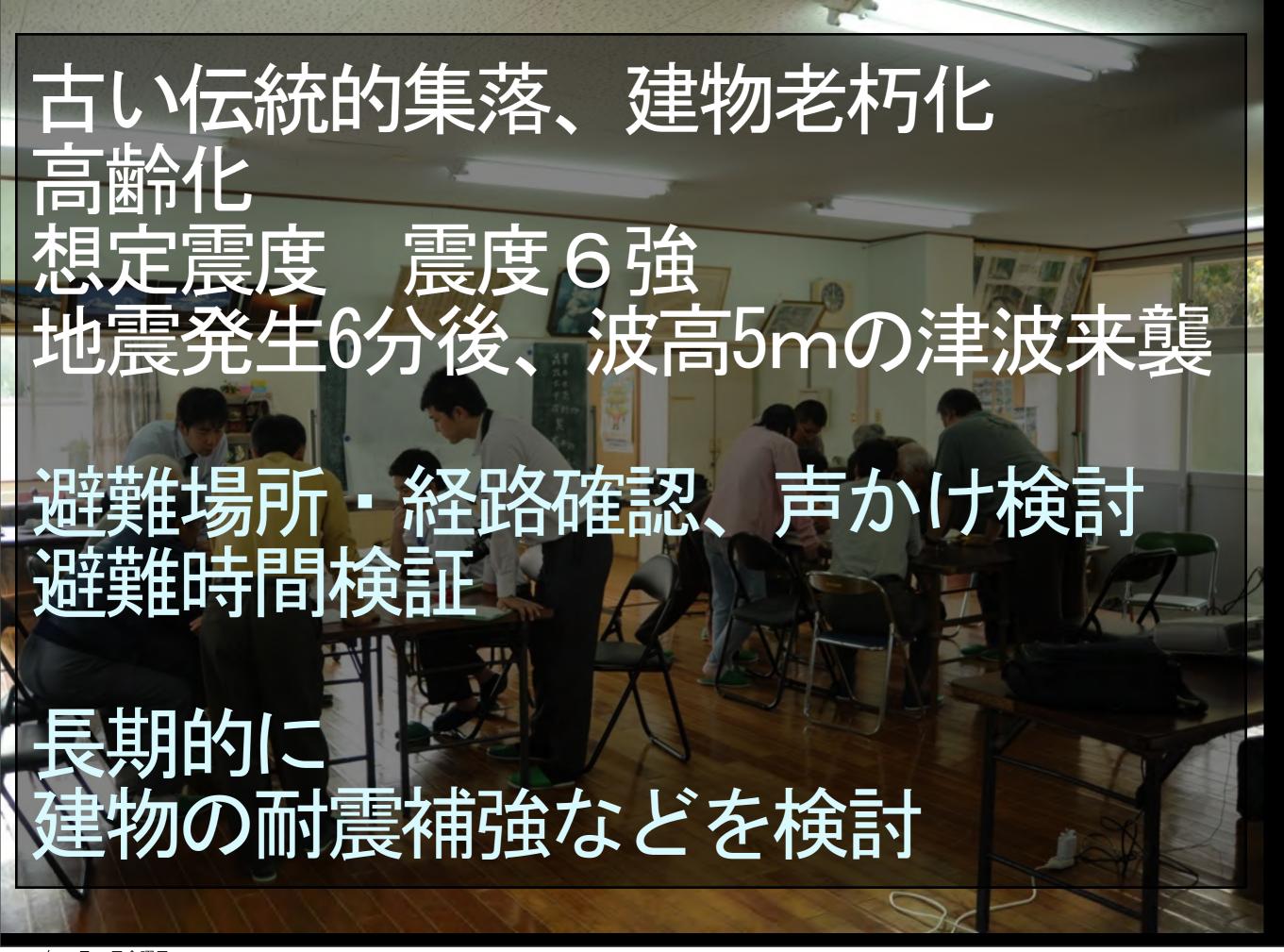
### 課題

- <要援護者と住民側>
- ・災害時の要援護者の避難支援をしたいが、人手がない、 あるいは高齢者ばかり(老-老支援、老-老共助)
- 民生委員も高齢化(いざという時の対応力がない)
- 要援護者自身が災害 防災の知識がない。(蚊帳の外)
- 個人情報を盾に協力しない住民がまだいる。(知識のつき過ぎ)
- 自主防災組織、自治会が機能していない。(地域力低下)

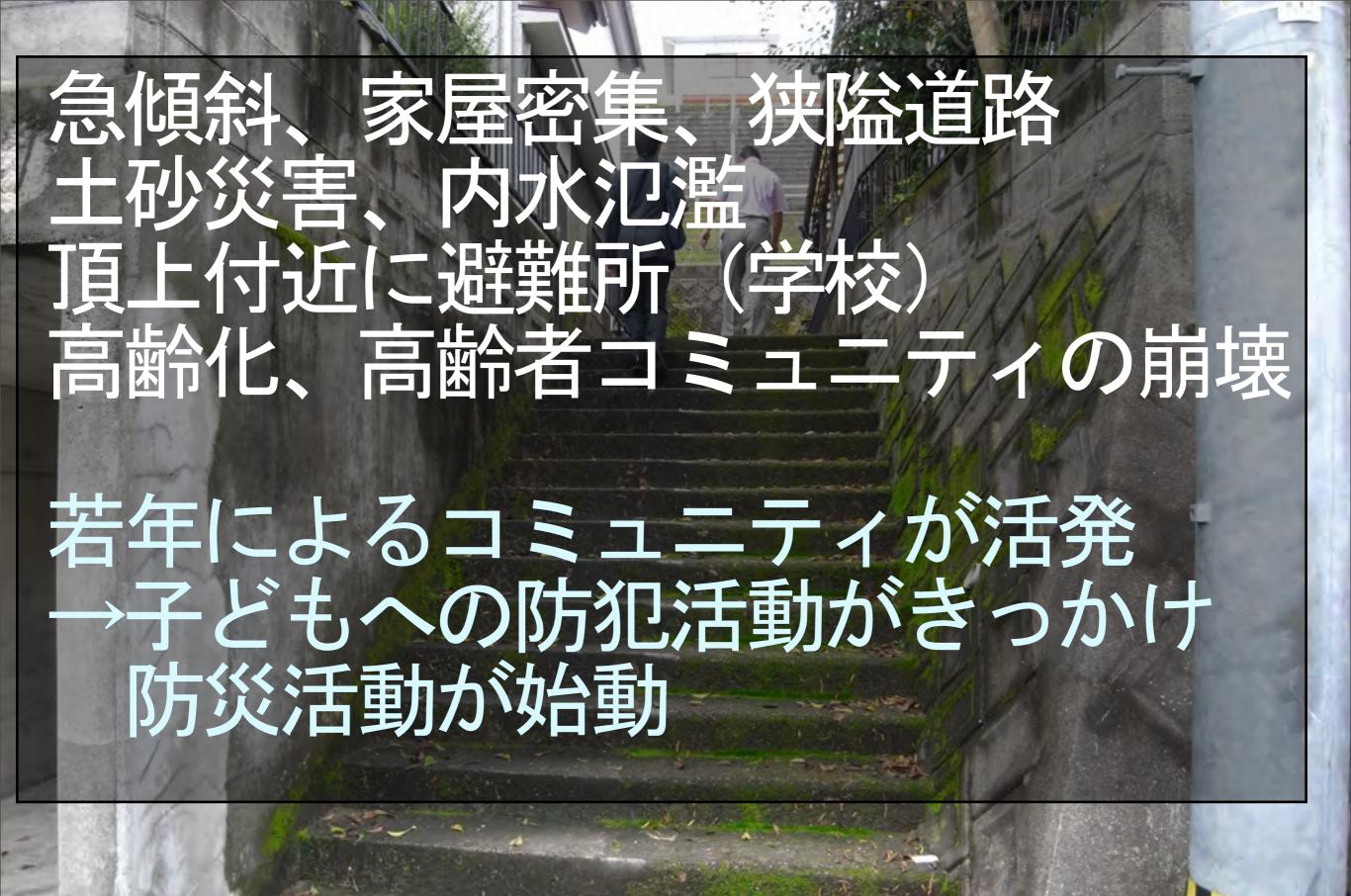
#### <行政側>

- (地方の)兼任防災担当では負担が大きい(給付金と防災対応)
- ・災害時要援護者マニュアルは重厚すぎて使えない。
- 防災啓発したいが、どのようにしたらよいかわからない。
- 総務系(防災)と社会福祉協議会が連携できていない。









# 中山間温泉地域での避難訓練(実験)

